

プログラム

開会挨拶

9:00～9:05

大会長：中村誠志（札幌禎心会病院 消化器外科 部長）

一般演題 1 摂食嚥下・口腔ケア・経口支援

9:05～9:50

座長：大橋伸英（札幌医科大学 医学部衛生学講座）

今井裕美子（釧路赤十字病院 看護部）

O-H1-1：食べさせ方までつなごうー摂食機能療法の連携ー

伊藤郁子（砂川市立病院）

O-H1-2：求められる嚥下調整食と多職種連携～特別食加算算定に向けた取り組み

長瀬まり（日本赤十字社 旭川赤十字病院 医療技術部 栄養課）

O-H1-3：とろみの統一化に向けた当院での取り組み

神島ひろみ（医療法人社団 CHCP ヘルスケアシステム 洞爺温泉病院）

O-H1-4：脳卒中入院患者における錠剤嚥下困難と服薬支援ニーズの検討

ーPILL-5 と服薬支援スコアの比較ー

宮崎里奈（札幌禎心会病院 薬剤部）

O-H1-5：歯科の早期介入で口腔潰瘍を予防し嚥下・栄養を支えた取り組み

水野愛理（札幌医科大学附属病院 歯科口腔外科）

特別講演

10:00～11:00

座長：七戸俊明（北海道大学病院 消化器外科 II 診療教授）

SL-H1：GLIM のその先へ

ー アナボリックレジスタンスに挑む栄養治療と多職種連携 ー

演者：森 直治

（愛知医科大学 大学院医学研究科 緩和・支持医療学 教授/愛知医科大学病院 緩和ケアセンター・栄養治療支援センター センター長）

一般演題 2 周術期・重症・疾患別栄養管理

11:05～11:50

座長：岡田尚也（手稲溪仁会病院 消化器外科）

松田和也（札幌共立五輪橋病院 薬剤科）

O-H2-1：専任管理栄養士としてICU退出後に向けた栄養管理の取り組み

～院内迅速対応チームへの参画～

前川奈都子（日本赤十字社 旭川赤十字病院 医療技術部 栄養課）

O-H2-2：整形外科手術における手術領域別の術前アミノ酸・炭水化物負荷飲料の効果

入江 翠（手稲溪仁会病院 栄養部）

O-H2-3：がん悪液質に対するアナモレリン投与症例の個別縦断解析

—体重・栄養指標および代謝指標の変化の検討—

坂東昌志（総合病院 伊達赤十字病院 薬剤部）

O-H2-4：多職種透析カンファレンスにおける栄養の視点を取り入れたリンおよび補正カルシウム管理の一例

福田健吾（医療法人扶恵会 釧路中央病院 薬剤科）

O-H2-5：重症患者の安静時エネルギー消費量に関連する因子の検討

石原悦菜（札幌医科大学附属病院 栄養管理センター）

ランチョンセミナー

12:00～13:00

座長：巽 博臣（市立函館病院集中治療室 副室長）

LS-H1：栄養治療は誰の仕事？— 医療と生活をつなぐ多職種連携 —

演者：高橋科那子

（社会医療法人母恋 天使病院 腎臓内科科長）

共催：株式会社大塚製薬工場

一般演題 3 NST 活動・多職種連携・地域連携

13:10~13:55

座長：児玉佳之（こだま在宅内科緩和ケアクリニック 診療部）
谷 文乃（大谷地病院 栄養課）

O-H3-1：第3回「患者さんのための見た目にも美味しい病院食コンテスト」準グランプリ受賞報告

竹内祐子（札幌医科大学附属病院 栄養管理センター）

O-H3-2：終末期乳癌患者2例から考える経口摂取についての多職種連携の意義、課題

平岡彩子（市立室蘭総合病院 栄養科）

O-H3-3：嚥下障害を伴う高度CKD症例に対するSTの役割とNSTの介入効果について

足沢伊織（医療法人溪仁会 札幌西門山病院）

O-H3-4：NST解散後の課題と今後の展望について「他職種連携から多職種連携へのパラダイムシフト」

阿部 悟（八雲総合病院）

O-H3-5：栄養ショートカンファレンスからみた多職種連携

佐々木智弘（医療法人社団北樹会病院）

一般演題 4 高齢者・リハ栄養・症例

14:00~14:45

座長：菊地剛史（新札幌ひばりが丘病院 内科）
稲葉久子（中村記念病院 栄養科）

**O-H4-1：誤嚥性肺炎高齢患者の経口移行期における脱水対策と多職種連携の有用性
— 2症例検討 —**

走上ひとみ（社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院）

O-H4-2：胃排泄遅延が疑われた誤嚥性肺炎反復例に対し乳酸菌発酵成分配合流動食が有効であった1症例

樋口智恵（社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院）

O-H4-3：早期リハビリテーションと栄養療法を行ったCOPD増悪患者における筋力増強効果の有無による特徴

尾山陽平（独立行政法人JCHO 登別病院 リハビリテーション室）

**O-H4-4：内服薬の調整とケアの見直しにより経口摂取を再開できた重症心身障害者の
4 例**

徳光亜矢（北海道療育園）

O-H4-5：分岐鎖アミノ酸の摂取による中枢性疲労の軽減効果

田名部秀侑（北海道医療大学リハビリテーション科学部理学療法学科 4 年）

一般演題 5 栄養評価・体組成・その他

14：50～15：35

座長：真崎茂法（宮の森記念病院 消化器内科）

渡邊なつき（H・N メディック 看護部）

O-H5-1：長期中心静脈栄養患者における大球性変化と医療資源適正化の観点からの検討

小日向真澄（札幌しらかば台病院 NST）

O-H5-2：栄養指導により食行動が改善し体重減少に寄与した高齢肥満患者の 1 例

齊藤七海（医療社団法人 CHCP ヘルスケアシステム 洞爺温泉病院・介護
医療院なのはな 診療技術部 栄養課）

O-H5-3：給食経営のパラダイムシフト～北海道から発信する新しい給食の形～

田中智美（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院）

O-H5-4：生体電気インピーダンス法による筋肉量測定における臨床的意義の検討

水野康佑（北海道医療大学リハビリテーション科学部理学療法学科 4 年）

O-H5-5：静脈採血のエラーにより糖尿病ケトアシドーシスが疑われた一例

橘内博哉（旭川医科大学 内科学講座 内分泌・代謝・膠原病内科学分野）

シンポジウム

15：40～17：00

座長：中村誠志（札幌禎心会病院 消化器外科）

『医食同源・『食べる』を『治療』につなぐ：多職種で支える栄養治療の実装』

SY-H-1：摂食嚥下障害からの視点

藤本篤士（札幌摂食嚥下症例相談会）

SY-H-2：演題取消

SY-H-3：「医食同源・『食べる』を『治療』につなぐ：多職種で支える栄養治療の実装」

—看護師（訪問看護師）の視点から—

浅田友紀（栗山赤十字訪問看護ステーション）

SY-H-4：膵がん化学療法患者に対する管理栄養士の関わり

入江 翠（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 栄養部）

SY-H-5：食べるを支える薬物療法 —嚥下機能低下患者における薬剤師と ST の協働

高橋 豊（社会医療法人社団 カレスサッポロ カレス記念病院 薬剤科）

SY-H-6：「医食同源・『食べる』を『治療』につなぐ：多職種で支える栄養治療の実装」

～医師の立場から～ 当院 NST の取り組みを中心に

宇野智子（市立室蘭総合病院 外科・消化器外科・乳腺外科）

閉会挨拶・次期大会長挨拶

17：00～17：10

大会長：中村誠志（札幌禎心会病院 消化器外科 部長）

次期大会長：長瀬まり（日本赤十字社 旭川赤十字病院）